かりがね

【目指す学校像】
活力が満ち、
さわやかで
心なごむ学校

生徒数１４１名（1年生 ４７名 ２年生４０名 ３年生５４名） **令和６年１１月１５日**

君たちは素晴らしい！　芳野中合唱コンクール！
『　１　音　入　魂　！！
～ 響かせろ　僕らのハーモニー　～　』

校長　黒須　淳一

＜３年　全体合唱＞

＜３年Ａ組＞

＜３年Ｂ組＞

　向寒の候、朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。立冬を過ぎ、日ごとに寒さが加わる季節となりました。保護者・地域の皆様におかれましては体調等お変わりなくお過ごしでしょうか。

　学校では、１０月２５日（金）芳野中学校合唱コンクールが開催されました。

　コロナウイルス感染症対策が政府から一律に求められなくなってから２度目の合唱コンクールでしたが、手洗いやうがい、換気を適切に行いながら芳野中学校合唱コンクールを開催することができました。保護者の皆様には、各ご家庭１名という制限付きのご案内となってしまいましたが、ご協力ありがとうございました。

『 ～ 合唱コンクールまで ～ 』　「合唱コンクールまでの一コマです」

　一年生は小学生（よしののひびき）から中学生となり、変声期という微妙な時期でもありましたが男女の声を調和させながら素敵な合唱を聴かせてくれました。二年生は、集団の成長に目を見張るものがありました。一人一人の歌う姿勢に、歌声に、感動しました。そして三年生、両クラスとも、自分の持っている力を全て出し切ろうとする気持ち「決意」を感じ

ました。仲間を信じて中学校生活最後の合唱コンクールを歌い上げようという「思い」を感じました。これまで支えてくれた家族や先生方に込めた「感謝」の心も感じました。皆さんの合唱を聴いて何度も目頭が熱くなりました。感動をありがとう。

コンクールですから優劣はつきましたが私にとっては全てのクラスが、そして全ての生徒が受賞に値する合唱でした。外部講師として、審査をお願いした柳澤先生と安田先生はどの学年にも高い賞賛の言葉をかけてくださいました。

生徒たちは、今回の合唱コンクールをとおして様々なことを学び、様々なものを得たことと思います。集団の一員として、自分に与えられた役割や責任をしっかりと果たすことの大切さや自分で考え、判断し、行動することの大切さ、ぶつかったり、気まずくなったりしながらも、それを乗り越えて生まれてくる本当の友達関係など、多くのことを学んだのではないでしょうか。

大切なことはこれからの学校生活や今後の生き方において学んだことを生かしていくことです。多くの感動をくれた生徒の皆さん、先生方、保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。

【第2回資源回収】１０月２６日（土）

いつも本校生徒のために資源回収を行っていただきありがとうございます。資源回収はPTA の活動として１年に３回行っていただいています。毎回の回収日には子どもたちにも協力してもらいながら作業を行っています。生徒のための環境整備等に活用しています。

【2年生　救急救命講座】<AED（自動体外式除細動器）使用の心肺蘇生法>

～　迅速かつ適切な手当は傷病の悪化を防ぐことができる　～

学校では、あるいは社会においても、生徒が（私たち大人も）、心肺停止に陥った人に遭遇したときの応急手当として AED（自動体外式除細動器）を使用した心肺蘇生法等をできるようにすることが求められています。学習指導要領においても、**実習を通して**応急手当を理解できるようにするとされています。芳野中学校では、埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センターから救急救命士の佐藤先生をお招きし、救急救命の実習を行いました。生徒たちは、真剣に救急救命法を理解しようとしていました。